

教科名	情報	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	情報Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	最新情報Ⅰ 新訂版 実教出版					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業 (座学・実技)
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。						
学習計画	前期	1. 情報社会で問題を解決する 2. 情報を伝える					
	後期	1. コンピュータを活用する 2. データを活用する					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	社会の動きや新しい情報に敏感になろう。教科情報も自ら学ぶことが大事。基礎基本を身につけICT社会に対応できる力を養いましょう。 情報で加害者・被害者にならないように、情報社会に参画できる技能・知識・モラルを身につけましょう。						

教科名	情報	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリッド文理コース
科目名	情報Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	最新情報Ⅰ 新訂版 実教出版					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業 (座学・実技)
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。						
学習計画	前期	1. 情報社会で問題を解決する 2. 情報を伝える					
	後期	1. コンピュータを活用する 2. データを活用する					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	社会の動きや新しい情報に敏感になろう。教科情報も自ら学ぶことが大事。基礎基本を身につけICT社会に対応できる力を養いましょう。 情報で加害者・被害者にならないように、情報社会に参画できる技能・知識・モラルを身につけましょう。						

教科名	情報	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション探求コース
科目名	情報Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	最新情報Ⅰ 新訂版 実教出版					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業 (座学・実技)
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。						
学習計画	前期	1. 情報社会で問題を解決する 2. 情報を伝える					
	後期	1. コンピュータを活用する 2. データを活用する					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	社会の動きや新しい情報に敏感になろう。教科情報も自ら学ぶことが大事。基礎基本を身につけICT社会に対応できる力を養いましょう。 情報で加害者・被害者にならないように、情報社会に参画できる技能・知識・モラルを身につけましょう。						

教科名	情報	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 ベーシックコース
科目名	情報Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	最新情報Ⅰ 新訂版 実教出版					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業 (座学・実技)
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。						
学習計画	前期	1. 情報社会で問題を解決する 2. 情報を伝える					
	後期	1. コンピュータを活用する 2. データを活用する					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	社会の動きや新しい情報に敏感になろう。教科情報も自ら学ぶことが大事。基礎基本を身につけICT社会に対応できる力を養いましょう。 情報で加害者・被害者にならないように、情報社会に参画できる技能・知識・モラルを身につけましょう。						

教科名	情報	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 スタンダードコース
科目名	情報Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	情報Ⅱ 東京書籍					授業形態	一斉授業（座学・実技）
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。						
学習計画	前期	1. 情報Ⅰの復習とAⅠ認証 2. コンテンツ制作 3. 実務演習(検定向け)					
	後期	1. 生成AIによるコンテンツ制作 2. 生成AIによる問題解決					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	1年次に学んだことをベースに、少しレベルの高い情報活用にチャレンジしましょう。皆さんに求められる力の一つに問題解決能力があります。協働学習を通じて、新しいツールを使いながらその能力を身につけて行きましょう。また、安全に生活できるよう正しいモラルを身につけましょう。						

教科名	情報	履修学年	3	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 課程 中高一貫・イノベーション探求コース
科目名	情報演習					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	情報Ⅰ Step Forward! 東京書籍					授業形態	一斉授業（座学・実技）
科目の目標 ※目標資格等	大学入試レベルの問題を解く力を身につける						
学習計画	前期	演習					
	後期	実践演習					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	模擬試験・予想問題を使い演習・解説を行います。自ら学ぶことが大切です。隙間時間を利用するのも効果的です。コツコツ取り組むことで力が付きます。頑張りましょう。						

教科名	情報	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 スタンダードコース
科目名	情報Ⅱ					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	情報Ⅱ 東京書籍					授業形態	一斉授業（座学・実技）
科目の目標 ※目標資格等	情報や情報機器についてよく理解し、それを上手に活用する方法を身につけます。また、学んでいる内容が社会とどのように関わっているかも学びます。 ※情報デザイン検定						
学習計画	前期	1. 情報処理（検定試験にむけて） 2. 情報デザイン（Webデザイン）					
	後期	1. 生成AIを用いたプログラミング演習 2. 生成AIとデータ解析					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度 評価：定期考査 授業態度 実習成果						
教師からの メッセージ	近年情報化社会になってきている中、AIに動かされるのではなく、AIに自分で指示が出せる力を身に付けましょう。また、インターネット関係のトラブルが増加してきているので正しい情報モラルを理解しましょう。						

教科名		履修学年		単位数		履修課程 (コース)	
科目名						履修形態	
教科書及び 使用教材等						授業形態	
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	家庭基礎	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	家庭基礎						
教科書及び 使用教材等	『ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎』 教育図書					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						
学習計画	前期	①青年期と家族 ②保育 ③高齢期 ④食生活					
	後期	①衣生活 ②住生活 ③消費生活					
評価の観点 評価の方法	・定期考査 ・ワークノート ・授業の取組み ・提出物 ・						
教師からの メッセージ	学んだことを実生活に活かしてこそ家庭科は意味を有します。自分の日々の生活を見つめ改善し、より良い人生を送りましょう。						

教科名	家庭基礎	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 スタンダードコース
科目名	家庭基礎						
教科書及び 使用教材等	『ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎』 教育図書					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						
学習計画	前期	①青年期と家族 ②保育 ③高齢期 ④食生活					
	後期	①衣生活 ②住生活 ③消費生活					
評価の観点 評価の方法	・定期考査 ・ワークノート ・授業の取組み ・提出物 ・						
教師からの メッセージ	学んだことを実生活に活かしてこそ家庭科は意味を有します。自分の日々の生活を見つめ改善し、より良い人生を送りましょう。						

教科名	家庭基礎	履修学年		単位数		履修課程 (コース)	普通 課程 選 抜 コース
科目名							
教科書及び 使用教材等						履修形態	
						授業形態	
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	家庭基礎	履修学年		単位数		履修課程 (コース)	普通 課程 スタンダードコース
科目名							
教科書及び 使用教材等						履修形態	
						授業形態	
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽ⅠTutti+ ギットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	新・高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞(日本美術史)					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞(西洋美術史)					
評価の観点 評価の方法	①授業態度(出席率、制作態度、準備物などを評価します。) ②実技(作品の完成度を評価します。) ③定期考査(美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。) ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅰ(東京書籍)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (イノベーション特進)
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽ⅠTutti+ ギットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (イノベーション特進)
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	新・高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞（日本美術史）					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞（西洋美術史）					
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み 美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (イノベーション特進)
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅰ（東京書籍）					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い（楷書・行書）。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分 を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価す る。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (ハイブリッド文理)
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽ⅠTutti+ ギットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に 最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌う と気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (ハイブリッド文理)
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	新・高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞（日本美術史）					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞（西洋美術史）					
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み 美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (ハイブリッド文理)
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅰ(東京書籍)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (普通)
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽ⅠTutti+ ギットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (普通)
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	新・高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞(日本美術史)					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞(西洋美術史)					
評価の観点 評価の方法	①授業態度(出席率、制作態度、準備物などを評価します。) ②実技(作品の完成度を評価します。) ③定期考査(美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。) ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (普通)
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅰ(東京書籍)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (スタンダード)
科目名	音楽Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅱ ギターの世界 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (スタンダード)
科目名	美術Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	高校生の美術2					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②一版多色刷木版画 ③鑑賞(日本のCG技術)					
	後期	①模写力の向上 ②切り絵 ③鑑賞(アメリカのCG技術)					
評価の観点 評価の方法	①授業態度(出席率、制作態度、準備物などを評価します。) ②実技(作品の完成度を評価します。) ③定期考査(美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。) ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (スタンダード)
科目名	書道Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅱ(東京書籍)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対し興味関心を持つ。技術的に向上し、感覚、感性を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的用筆法のの会得。篆書・隸書の特徴を理解する。					
	後期	篆刻の技術を会得し、印を彫る。漢字仮名交じり(調和体)の作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の力が徐々についてきて、意図する作品が制作できるようになります。感動します。						

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (Ⅲ)
科目名	芸術鑑賞(音楽)						
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅲ改訂版 Music Navigation					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	明るく美しく～高度な演奏ができるように頑張りましょう。						
学習計画	前期	独唱・重唱・合唱をやります。(試験の合間にDVD鑑賞します)					
	後期	音楽史に関する授業及びDVD鑑賞にて歴代の作曲家の作品を鑑賞します。					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。後期の授業は主に音楽鑑賞です。真面目に鑑賞できた生徒に評価を与えます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。作曲家たちのDVDを鑑賞して音楽に触れましょう						

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (Ⅲ)
科目名	芸術鑑賞(美術)						
教科書及び 使用教材等	高校生の美術3					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習 計画	前期	①模写力の向上 ②人物画(鉛筆デッサン) ③鑑賞(日本のアニメーション技術)					
	後期	①模写力の向上 ②ペーパークラフト ③鑑賞(アメリカのアニメーション技術)					
評価の観点 評価の方法	①授業態度(出席率、制作態度、準備物などを評価します。) ②実技(作品の完成度を評価します。) ③定期考査(美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。) ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み 美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 (Ⅲ)
科目名	芸術鑑賞(書道)						
教科書及び 使用教材等	書道Ⅱ(東京書籍)・プリント					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対し関心を高め質の高い作品を製作する。自分の意図する表現を、具体的に工夫し 発表する。						
学習 計画	前期	書道の意義、用語の理解。用筆法の会得。篆書・隸書の特徴を理解する。					
	後期	様々な書体の技術を会得し、作品をつくる。漢字仮名交じり(調和体)の作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部 分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価す る。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の力が徐々についてきて、意図する作品が制作できるようになります。感動します。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、球技指導（バスケットボール・バレー・卓球など）、スポーツテスト、陸上					
	後期	マット運動、バレーボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず、楽しく意欲的に取り組んでほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション特進コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、球技指導（バスケットボール・バレー・卓球など）、スポーツテスト、陸上					
	後期	マット運動、バレーボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず、楽しく意欲的に取り組んでほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット文理コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、球技指導（バスケットボール・バレー・卓球など）、スポーツテスト、陸上					
	後期	マット運動、バレーボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず、楽しく意欲的に取り組んでほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 普通 コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、球技指導（バスケットボール・バレー・卓球など）、スポーツテスト、陸上					
	後期	マット運動、バレーボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず、楽しく意欲的に取り組んでほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	1 単元 現代社会と健康 1～9					
	後期	1 単元 現代社会と健康 10～21					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション特進コース
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	1 単元 現代社会と健康 1～9					
	後期	1 単元 現代社会と健康 10～21					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット文理コース
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	1 単元 現代社会と健康 1～9					
	後期	1 単元 現代社会と健康 10～21					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	普通 課程 普通 コース
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	1 単元 現代社会と健康 1～9					
	後期	1 単元 現代社会と健康 10～21					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、球技指導（ハンドボール、バレーボールなど）、卓球					
	後期	跳び箱運動、バスケットボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 イノベーション探究コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、球技指導（ハンドボール、バレーボールなど）、卓球					
	後期	跳び箱運動、バスケットボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 ハイブリット文理コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、球技指導（ハンドボール、バレーボールなど）、卓球					
	後期	跳び箱運動、バスケットボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通 課程 アドバンス文系コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、球技指導（ハンドボール、バレーボールなど）、卓球					
	後期	跳び箱運動、バスケットボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名						履修形態	必修
教科書及び 使用教材等						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、球技指導（ハンドボール、バレーボールなど）、卓球					
	後期	跳び箱運動、バスケットボール					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	保健					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	2単元 生涯を通じる健康 1～11					
	後期	3単元 社会生活と健康 1～9					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	保健					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	2単元 生涯を通じる健康 1～11					
	後期	3単元 社会生活と健康 1～9					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリット文理コース
科目名	保健					履修形態	必修
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	2単元 生涯を通じる健康 1～11					
	後期	3単元 社会生活と健康 1～9					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	2単元 生涯を通じる健康 1～11					
	後期	3単元 社会生活と健康 1～9					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	2	単位数	1	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	保健						
教科書及び 使用教材等	現代高等保健体育、現代高等保健体育ノート					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	変化する現代社会における運動の意義や必要性を理解するとともに、個人・社会生活における健康・安全についての課題解決に役立つ基礎的な知識を身につける。						
学習計画	前期	2単元 生涯を通じる健康 1～11					
	後期	3単元 社会生活と健康 1～9					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、ノート提出、各定期テスト、レポート						
教師からの メッセージ	生涯を通じた健康や体育・スポーツの意義と、安全で健康的な自然・社会環境づくりの基礎的な知識を身につけてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	中高一貫課程
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、バレーボール					
	後期	サッカー、球技指導（バスケットボール・バレーボールなど）					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、運動技能と体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 イノベーション探究コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、バレーボール					
	後期	サッカー、球技指導（バスケットボール・バレーボールなど）					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、運動技能と体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 ハイブリット文理コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、バレーボール					
	後期	サッカー、球技指導（バスケットボール・バレーボールなど）					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、運動技能と体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 アドバンス文系コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、バレーボール					
	後期	サッカー、球技指導（バスケットボール・バレーボールなど）					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、運動技能と体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名	体育	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等	ステップアップ高校スポーツ					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	運動の楽しさや喜びを味わうことができ、自己の能力と各種の運動に応じた技能を高め、体力を高めることができる。						
学習計画	前期	集団行動、スポーツテスト、バレーボール					
	後期	サッカー、球技指導（バスケットボール・バレーボールなど）					
評価の観点 評価の方法	関心、意欲、態度、各種目の実技テスト						
教師からの メッセージ	各種目できる・できないにかかわらず楽しく意欲的に取り組み、運動技能と体力の向上に努めてほしいと思います。						

教科名		履修学年		単位数		履修課程 (コース)	課程 コース
科目名	体育						
教科書及び 使用教材等						履修形態	
						授業形態	
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	探究	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	イノベーション特進コース	
科目名	総合的な探究の時間							
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修	
						授業形態	実技授業	
科目の目標 ※目標資格等	* 社会や身近な課題に関心を持ち、自ら問いを立てる力を養う * 情報収集・整理の基本的な技能を身につける * 探究活動の基本的なプロセスを理解する* 社会や身近な課題に関心を持ち、自ら問いを立てる力を養う * 情報収集・整理の基本的な技能を身につける * 探究活動の基本的なプロセスを理解する							
学習計画	前期							
	後期	* 探究とは何か(導入) * 興味関心の発見ワーク * 社会課題の理解 * テーマ設定(仮) * 良い問いの作り方* テーマ・問いの確定* 探究とは何か(導入) * 興味関心の発見ワーク * 社会課題の理解 * テーマ設定(仮) * 良い問いの作り方* テーマ・問いの確定 * 情報収集(文献・ネット) * 簡易アンケート実施 * データ整理 * 考察の基礎(なぜ?を言語化) * 発表(ポスター or スライド)						
評価の観点 評価の方法	観点 * 思考・判断・表現 * 主体的に学習に取り組む態度 * 知識・技能(情報収集) 方法 * テーマ設定シート * ワークシート * 発表内容 * 振り返り(Googleフォーム)							
教師からの メッセージ	正解を探すのではなく、“問いを持つ力”を大切にしよう							

教科名	探究	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫課程コース イノベーション特進コース ハイブリッド文理コース アドバンスドコース スタンダードコース	
科目名	総合的な探究の時間							
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修	
						授業形態	実技授業	
科目の目標 ※目標資格等	* 仮説を立て、根拠に基づいて検証する力を養う * 調査・分析を通して論理的に考察する力を高める * 他者に伝える表現力を身につける* 仮説を立て、根拠に基づいて検証する力を養う * 調査・分析を通して論理的に考察する力を高める * 他者に伝える表現力を身につける							
学習計画	前期	* テーマ再設定(1年次の発展 or 新規) * 仮説設定 * 調査計画作成 * アンケート設計・改善 * データ収集開始						
	後期	* データ分析(グラフ・比較) * 仮説の検証 * 考察の深化(理由・背景) * 発表資料作成 * プレゼンテーション(校内)						
評価の観点 評価の方法	観点 * 思考・判断・表現(論理性) * 主体性(継続力・改善) * 知識・技能(分析力) 方法 * 調査計画書 * データ分析資料 * 発表スライド * 探究レポート							
教師からの メッセージ	なんとなく”をやめて、“根拠”で語れるようになろう							

教科名	探究	履修学年	3	単位数	3	履修課程 (コース)	イノベーション探究コース	
科目名	総合的な探究の時間							
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修	
						授業形態	実技授業	
科目の目標 ※目標資格等	* 探究成果を社会や進路に結びつける力を養う * 自分の考えを論理的かつ説得的に発信できるようにする * 総合型選抜・小論文・面接に対応できる力を育成する							
学習計画	前期	個人探究(課題の設定→情報の収集→整理分析→まとめ・表現) 志望大学探究						
	後期	個人探究(課題の設定→情報の収集→整理分析→まとめ・表現) 進路探究						
評価の観点 評価の方法	観点 * 思考・判断・表現 * 主体的に学習に取り組む態度 * 知識・技能(情報収集) 方法 * テーマ設定シート * ワークシート * 発表内容 * 振り返り(Googleフォーム)							
教師からの メッセージ	最後の探究のサイクルを論文やポスターなどで仕上げていきます。探究から実際の行動(アクション)へと移すことも大切にするのが3年次における個人探究です。また、進路選択も近づいてくることから、これまでの探究を振り返りながら次の進路先での学びへとつなげることも意識した学びに取り組んでもらう予定です。							

教科名	探究	履修学年	1	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫課程コース ハイブリッド文理コース ベーシックコース	
科目名	総合的な探究の時間							
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修	
						授業形態	実技授業	
科目の目標 ※目標資格等	* 社会や身近な課題に関心を持ち、自ら問いを立てる力を養う * 情報収集・整理の基本的な技能を身につける * 探究活動の基本的なプロセスを理解する* 社会や身近な課題に関心を持ち、自ら問いを立てる力を養う * 情報収集・整理の基本的な技能を身につける * 探究活動の基本的なプロセスを理解する							
学習計画	前期	* 探究とは何か(導入) * 興味関心の発見ワーク * 社会課題の理解 * テーマ設定(仮) * 良い問いの作り方* テーマ・問いの確定* 探究とは何か(導入) * 興味関心の発見ワーク * 社会課題の理解 * テーマ設定(仮) * 良い問いの作り方* テーマ・問いの確定						
	後期	* 情報収集(文献・ネット) * 簡易アンケート実施 * データ整理 * 考察の基礎(なぜ?を言語化) * 発表(ポスター or スライド)						
評価の観点 評価の方法	観点 * 思考・判断・表現 * 主体的に学習に取り組む態度 * 知識・技能(情報収集) 方法 * テーマ設定シート * ワークシート * 発表内容 * 振り返り(Googleフォーム)							
教師からの メッセージ	正解を探すのではなく、“問いを持つ力”を大切にしよう							

教科名	探究	履修学年	3	単位数	1	履修課程 (コース)	中高一貫課程コース ハイブリッド文理コース アドバンスドコース スタンダードコース
科目名	総合的な探究の時間						
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	<ul style="list-style-type: none"> * 探究成果を社会や進路に結びつける力を養う * 自分の考えを論理的かつ説得的に発信できるようにする * 総合型選抜・小論文・面接に対応できる力を育成する 						
学習計画	前期	<ul style="list-style-type: none"> * テーマ最終決定 * 探究の再構成（問い・仮説の整理） * 追加調査・再分析 * 論文構成の理解（序論・本論・結論） 					
	後期	<ul style="list-style-type: none"> * 探究論文作成 * プレゼン強化（質疑応答） * 志望理由書への接続 * 最終発表（外部発信も可） 					
評価の観点 評価の方法	<p>観点</p> <ul style="list-style-type: none"> * 思考・判断・表現（統合力） * 主体性（課題解決力） * 知識・技能（発信力） <p>方法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 探究論文 * プレゼンテーション * 志望理由書連動課題 * 振り返り 						
教師からの メッセージ	探究は“受験のため”ではなく、“自分の未来をつくるため”のものです						

		履修学年		単位数		履修課程 (コース)	
科目名							
教科書及び 使用教材等						履修形態	
						授業形態	
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							

教科名	学校設定	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	ビジネス演習						
教科書及び 使用教材等	情報処理検定試験パスポート2級					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	表計算ソフトウェアの知識及び利用技術の習得を目標とします。						
学習計画	前期	複合条件・検索の関数・文字列と数値の関数					
	後期	日時、曜日の関数・関数のネスト・複合参照とマルチシート・グループ集計とマルチシー					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能・思考・表現・主体的に取り組む態度 評価：定期考査・授業態度・実習成果						
教師からの メッセージ	教室での実技の授業が多い教科ですので、欠席をしないで真面目に取り組んでください。						

教科名	学校設定	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	ビジネス基礎						
教科書及び 使用教材等	ビジネス基礎[実教]					履修形態	必修
						授業形態	一斉授業
科目の目標 ※目標資格等	商業の各分野における基本的な知識と技術を身につけ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念をしっかりと理解させ、ビジネスの現場で行われるいろいろな活動を合理的かつ主体的に実行できる能力と態度を身につける						
学習計画	前期	商業の学習とビジネス・ビジネスとコミュニケーション・経済と流通の基礎					
	後期	ビジネスの担い手・ビジネスと売買取引・売買に関する計算					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能・思考・表現・主体的に取り組む態度 評価：定期考査・授業態度・提出物						
教師からの メッセージ	商業に関するもっとも基礎的な教科ですので、しっかり身につけてください。						

教科名	学校設定	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名	ビジネス演習						
教科書及び 使用教材等	情報処理試験パスポート					履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	表計算ソフトウェアの知識及び利用技術の習得を目標とします。						
学習計画	前期	表の作成・グラフの作成・基本的な関数					
	後期	相対参照と絶対参照・応用的な関数					
評価の観点 評価の方法	観点：知識・技能・思考・表現・主体的に取り組む態度 評価：定期考査・授業態度・実習成果						
教師からの メッセージ	教室での実技の授業が多い教科ですので、欠席をしないで真面目に取り組んでください。						

教科名	学校設定	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 スタンダードコース
科目名							
教科書及び 使用教材等						履修形態	必修
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等							
学習計画	前期						
	後期						
評価の観点 評価の方法							
教師からの メッセージ							